

月・旬	10				11				12				1			2			3			4			5			6				
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上						
生育	出芽期				有効分げつ期				無効分げつ期			莖立期			出穂期			登熟期														
主な作業	● 排水対策 ● 土壌改良材の散布 ● 種子消毒 ● 播種時期 ● 初期除草剤				○ 麦踏み				● 追肥①			○ 麦踏み			● 追肥②			○ 網斑病補正防除 (大麦のみ)			● 赤かび病防除①			● 赤かび病防除②			● 収穫 (はるか二条)			● 収穫 (小麦)		
	高品質麦生産のため、適期播種を心掛けましょう！								麦踏み・土入れは土壌が乾いているときに実施						穂揃い期追肥は必ず実施																	

栽培のポイント

排水対策・適期播種・酸度矯正・適正施肥・赤かび病防除 (必ず2回)

適期収穫

赤かび病防除 (2回) を行っていない麦は、共乾施設等での荷受けはできません。

### 1. 土壌改良資材 (適正pH 6.0~6.5)

◆資材の銘柄と、土壌pHを1上げるのに必要な資材量 (10a当たり)

資材名	施用量	備考
生石灰	100kg	アルカリ分90%でpHが上がりやすい。播種の10日前までに施用し、土とよく混和。
細粒苦土石灰	160kg	アルカリ分55%で、苦土を含む。
ミネラルG	200kg	アルカリ分40%で、ケイ酸や鉄分を含む。

### 2. 播種量および播種時期 (10a当たり)

品種名	播種適期	播種量	備考
はるか二条	11月15~25日	7~8kg	遅播の場合、播種量を2kg/10a程度増やす。
チクゴイズミ ミナミノカオリ ちくしW2号	11月20~12月5日	6~7kg	

### 3. 種子消毒

対象病害虫	薬剤名	処理方法
斑葉病・網斑病 なまぐさ黒穂病 裸黒穂病	トリフミン水和剤	種子1kgに対し、薬剤5gを粉衣。
鳥害防止 斑葉病・網斑病(大麦) なまぐさ黒穂病(小麦) ヤギシロトビムシ(小麦)	キヒゲンR-2フロアブル	種子1kgに対し、薬剤20mlを塗抹処理。

※ヤギシロトビムシ対策(小麦):  
クルーザーFS30を種子1kgに対して薬剤6mlを塗抹処理し、10分間乾燥後、トリフミン水和剤を処理。

### 4. 施肥基準 (10a当たり)

品種名	基肥	追肥① 1月中・下旬	追肥② 2月下~3月上旬	穂揃い期追肥 4月中旬
はるか二条	ベスト化成444 40kg	ベスト化成444 30kg 追肥一発 麦追肥名人 30kg	硫安 10kg	
チクゴイズミ	ベスト化成444 40kg	ベスト化成444 30kg 追肥一発 たんぱ君 30kg	硫安 10kg	硫安 10kg
ミナミノカオリ ちくしW2号	ベスト化成444 40kg	追肥一発 麦追肥名人 40kg		硫安 25kg 又は 尿素 10kg

※1 大豆後の基肥は30kg/10a。

※2 ミナミノカオリやちくしW2号は、タンパク質含有率を高めるため必ず穂揃い期追肥を行う。

※3 穂揃い期追肥を葉面散布で行う場合、赤かび病防除と同時に行う。1回目は10a当たり尿素5kgを水100ℓに溶かして散布する。2回目も同様に行う。

### ☆品種特性

(福岡県主要農作物品種特性表(R4.6月)より)

品種名	出穂期 月・日	成熟期 月・日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	耐倒伏性	赤かび病
はるか二条	4.7	5.22	79	6.5	654	強	中
チクゴイズミ	4.12	6.1	88	8.5	537	やや強	やや強
ミナミノカオリ	4.14	6.3	84	7.7	507	強	やや弱
ちくしW2号	4.11	6.1	84	9.2	482	強	やや弱

※播種期は、はるか二条11月18日~12月3日、その他小麦11月20~25日。

### 5. 雑草防除基準 (10a当たり)

#### ○播種前処理

薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量
ラウンドアップ マックスロード	耕起・播種前 又は 播種後出芽前 (雑草茎葉処理)	200~ 500ml	50~ 100ℓ

《注意事項》  
除草剤散布の際は、周囲の作物に飛散しないようにしましょう！

#### ○播種後、生育中処理 (10a当たり)

	薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量	備考
初期 (播種後)	リベレーターG	播種後~麦2葉期	4~5kg	—	雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで
	サターンバアロ 粒剤	播種後~麦4葉期	3~5kg	—	雑草発生前~スミレ/メツボウ1.5葉期まで
	リベレーター フロアブル	播種後~麦3葉期	60~80ml	100ℓ	雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで ※大麦は70mlまで
	サターンバアロ 乳剤	播種直後~麦出芽前	500~ 750ml	70~100ℓ	雑草発生前に散布すると効果が高い。
中期 (生育期)	トレファノサイド 粒剤2.5	生育期 (雑草発生前) ただし、収穫45日前まで	4~5kg	—	カラスミギ、ネズミムギが前年多発した場合は、2回散布すると効果が高い。
	トレファノサイド 乳剤		200~ 300ml	100ℓ	
	ハーモニーDF (イネ科・広葉)	麦1葉期~節間伸長前	5~10g	100ℓ	イネ科・広葉雑草に効果がある。

※1 リベレーターフロアブルは、使用量が多いと大麦では薬害が発生する恐れがあるため注意する。

※2 ハーモニーDFは、野菜や豆類等に薬害を生じるので、ドリフトがないように注意。使用後のタンク及び散布器具は、添付の石灰溶かした液を10分間循環させた後、20分間放置し、排水後清水で洗浄する。

### 6. 網斑病補正防除 (大麦のみ)

●防除適期: 3月中下旬 (多発した場合は)

薬剤名	適用病害名	使用量	希釈水量	備考
チルト乳剤25	網斑病	1,000倍	60~150ℓ	収穫21日前まで使用は1回以内

### 7. 赤かび病防除


かび毒発生防止のため、必ず2回防除を行ってください。

薬剤名	適用病害名	使用量	希釈水量	備考
ワークアップ粉剤DL	赤かび病	3kg	—	収穫7日前まで使用は3回以内
ワークアップフロアブル		3,000倍		
シルバキュアフロアブル		2,000倍	60~150ℓ	大麦: 収穫14日前まで 小麦: 収穫7日前まで 使用は2回以内
ミラビスフロアブル				

#### ※赤かび病防除適期

小麦

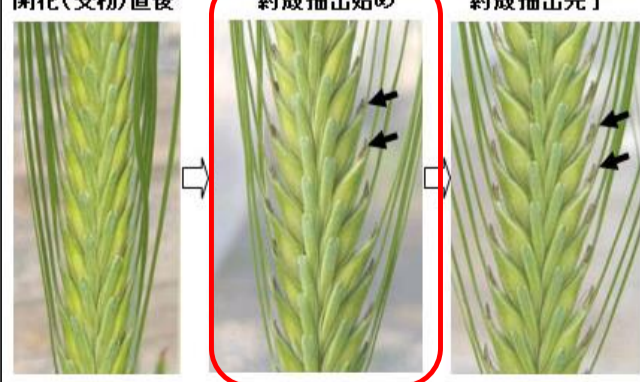
1回目: 開花始め~開花期  
(出穂7~10日後頃)



2回目:  
1回目の7~10日後

大麦

1回目: 葯殻抽出期(出穂12~14日後頃)



2回目: 1回目の7~10日後

### 8. 収穫

早刈りはしないこと。水分25~20%の間に収穫する。